



大阪府保育士会だより

ほほえみ

令和4年
7月1日

130号

発行 大阪府社会福祉協議会 保育部会・保育士会 大阪市中央区中寺1-1-54 ☎ 06-6762-9001

会長あいさつ

笑顔になれる居場所づくり

大阪府保育士会長 伊藤裕子

新年度がスタートしてはや3カ月がたちました。各園におかれましては、新園児さんも落ち着かれ、保育を進めておられることと存じます。

年度が変わってもマスク生活は、そのまま、消毒の徹底、健康チェックと3年にわたる新型コロナ感染症対策です。終わりの見えない魔物への予防対策にご尽

力本当にお疲れさまです。

さて今年の総会は、あべのハルカス会議室でリモート併用で開催させていただきました。参加できなかったのは残念でありましたが、常任委員が一同久しぶりに会することができました。

また、大阪府からは、国のことも家庭庁創設に合わせ、組織改革された子ども家庭局長の福本泰延氏、同子育て支援課長神山浩司氏にご臨席いただき、無事執り行うことができました。

何よりうれしかったのは、2年ぶりに念願であった旭山動物園の園長坂東元氏を講師にお迎えできたことです。坂東氏は「動物から学ぶ命の尊さ」と題され、ご自身がなぜ獣医になろうとしたのか、また動物の生態を通して命とは尊いものだと話されました。

今世界では戦争により多くの尊い命が失われています。そのような中、生かされていることに感謝を感じる

内容でした。

旭山動物園では、個々の動物の生態系にあわせた環境を提供し、自然に近い環境で過ごせるよう工夫されています。

私たちの現場でも「命を大切に」、一人ひとりの育ちに合わせ寄り添いながら保育しています。園児、保護者が安心して、共に育ち合いを喜び合える居場所作りをこれからも進めてまいります。

どのような時も、笑顔で、笑い、涙しながら共に分かちあい、揺るがない思いを大切にしたいと思えます。

最後に、昨年度末、保護者向けのレシピ集を作成しました。園の給食等を家庭でもあまり手間をかけずできる時短、簡単レシピ集です。現在、各園にお届けできるよう準備を進めています。ぜひご活用くださいませ。

今年も皆さまのご協力よろしくお願い申し上げます。

令和4年度

総会報告



辞をいただき、主催者として、森田信司保育部会長、田中進大阪府社協常務理事が挨拶されました。

議事では、令和3年度事業報告・収支決算、令和4年度事業計画・収支予算が報告されました。

第二部の記念講演では旭山動物園園長の坂東元氏をお迎えし「動物から学ぶ命の尊さ」をテーマに講演いただきました。(2面詳細)

令和4年度保育士会総会が、5月13日、あべのハルカス会議場で感染予防を徹底した上で開催されました。今年も、役員のみ会場参加し、皆さまには、オンラインでのご参加いただきました。

第一部の式典では、全国保育士会倫理綱領、食育推進ビジョンを唱和、保育士の歌「私たちがいるんです」を聴いた後、伊藤会長が挨拶に立ち、引き続き在会10年職員への感謝状が代表の方に贈られました。

続いて、来賓を代表して大阪府福祉部子ども家庭局長、福本泰延様からご祝



～令和4年度 事業計画～

- ◆大阪府保育士会総会 5月13日(金)終了
- ◆常任委員会の開催(原則、第1木曜日)
- ◆役員会の開催
- ◆その他保育に関わる会議の開催

関係団体事業への参画

- ◆大阪府食育推進ネットワーク会議
- ◆大阪府食育推進計画評価審議会
- ◆大阪民間社会福祉事業従事者共済会 福利厚生事業運営委員会
- ◆ちやいるどネット大阪 人権保育講座企画会議
- ◆その他大阪府各審議会、協議会等へ参画

近畿・全国関係事業への協力・参加

- ◆近畿ブロック保育士会リーダーセミナー (9月17日)
- ◆近畿ブロック保育士会会長会(年3回)
- ◆全国保育士会研究大会 (11月24日～25日/奈良県)
- ◆全国保育研究大会(10月予定/山形県)
- ◆全国保育士会食育推進研修会
- ◆全国保育士会委員総会・連絡会(年3回)
- ◆都道府県・指定都市保育士会正副会長セミナー(年1回)
- ◆全国保育士会被災地支援スカンボ募金への協力

キャリアアップ研修

- 『幼児教育』終了
- 6月14日(火)・21日(火)・28日(火)
- 講師…寺見 陽子氏 (神戸松蔭女子学院大学 教授)
- 『食育・アレルギー対応』
- 8月29日(月)・30日(火)・31日(水)
- 講師…小川 雄二氏 (名古屋短期大学 教授)
- 『乳児保育』
- R5年1月11日(水)・18日(水)・25日(水)
- 講師…大方 美香氏 (大阪総合保育大学大学院 教授)

保育士研修会

- 『造形活動について』
- 7月12日(火)
- 講師…村田 夕紀氏 (造形教育研究所「こどものアトリエ」代表)
- 『災害時の乳幼児支援について』
- 9月(未定)
- 講師…日本赤十字社指導員
- 『発達支援について』
- 11月2日(水)
- 講師…伊丹 昌一氏 (梅花女子大学 心理こども学部心理学科 教授)

◆各種委員会の運営

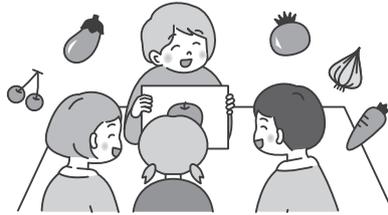
- 研修企画委員会
- 自主研修委員会
- 食育推進委員会
- ◆ハンドブック『ほほえみ』の頒布
- ◆ブロック活動の強化

保育士人材確保事業の実施

- ◆在会10年職員への感謝状と記念品の贈呈
- ◆保育士養成校等へ保育士派遣事業

機関紙・研究レポートの発行

- ◆機関紙『ほほえみ』の発行(年4回を予定)
- ◆研修レポートの作成(機関紙『ほほえみ』に記載)



総会記念講演

「命」を伝えると「うんこ」

北海道の旭山動物園園長の坂東元氏から「動物から学ぶ命の尊さ」をテーマにお話いただきました。まず、バブル景気崩壊後に起きた動物園の存続危機について触れました。古くなってポロポロの園は、他の動物園に当たり前にいる動物や北海道に生息している身近な動物ばかり。「つまらない！ ラッコいないの？ 珍しい動物いないの？」

また、子どもがアザラシを一生懸命見ているそばで、「ラッコじゃないよ、ただのアザラシだよ」という大人。大人の価値観が子どもに移っていきます。

こうして、来園者は減り続け「閉園」へという話が出てきました。

「スズメもカラスもアザラシもエゾシカもペンギンも北極熊もみんなそれぞれ素晴らしいんだ。つまらない『命』なんてない」と話

されました。

人が関わっていない野生動物の素晴らしさ。そこには、自分が思いもしなかった生命観。ありのままの現状を理解し、痛み、苦しみも受け入れる生き方。プレることなく、羨むことなく、生きる純粹さ、気高さ、尊さを教えてくれています。

エゾリスは、生物学上寿命は16年ですが、自然界では4～5年しか生きられないといえます。

天敵からの身の危険や木の実や虫などのえさの確保など、自然の厳しさからだとおもいます。

そして、自然生息地に近い環境で飼育することに努め動物本来の魅力を見てもらうことに成功しました。

また、園では、動物たちの計報を伝えておられます。「命を伝える」こ

とは、死を大切にすること。命を終わらせてくれる仕組みの中で、命があふれているのが『自然』だ。そして、生まれて死ぬから命。死は忘れ去るものではない。存在が消えて心の中で生きはじめるもの」とおっしゃっていました。

講演を聞いて、子どもと一緒に死を共有することの大切さを感じました。そして、今を「生きる」ということは、次代に何を託すのかを考えていかなければいけないと思いました。



児童精神科医の 保育つれづれ話⑤

かしわ保育園
施設長

北畑 英樹

Profile

1943年生まれ、慶應義塾大学医学部卒。
精神科医、医学博士、日本笑い学会会員。
著書は「福祉めいげん100話」「子育て
名言集 子どもは育つ」。

応答的対応



私は、児童精神科医として乳幼児時代の子どもたちを育児するお母さんや保育士の大切な行動のひとつは、難しいコトバでいえば「応答的対応」です。
やさしくいえば、子どもたちが期待している反応を返してあげることです。

ハイハイしていた子どもが立てた。お箸でご飯が食べられた。スキップを踏めるようになった……。
それぞれの発達段階に応じて、自分の力だけで、何かを成し遂げたと感じた時、ほとんどの子どもは、かわ

いいドヤ顔で、ほめてほしいサインを出すものです。

この時、周囲にいる保育士がシッカリと子どもの喜びと一緒に喜んであげたり、ほめてあげたりして、子どもの「達成感」を承認し強化する必要があるのです。と、いいますのは、この「達成感」は一人だけで感じていたのでは、少し不安が残るものだから、どうしても周囲の大人や仲間

の共感と承認が必要で、それにより、その喜びも倍加するのです。
そして、この「達成感」をより多く感じられた子ども

もたちほど自信や意欲や自己肯定力が育ちやすいのです。
しかし、お母さんの中には、このチャンスを上手に活かしていない人もみられます。

先日、私たちの保育園の1歳児がブロックを積んで遊んでいました。かなりの苦勞の末、やつとの思いで自分の背丈と同じぐらいの高さまで積むことに成功しました。

ちょうどその時、お母さんがお迎えに来たのです。子どもは（どうだ、すごいだろう。ボクが一人でやったんだぞ）と得意げな顔でお母さんを見るのですが、お母さんは気がつかなかったのでしょうか、さつさとロッカーの方へ行ってしまういました。

その時の子どものガツカリした表情、見ていてかわいそうならいでした。
こんな体験が繰り返されれば、子どもの意欲が低下したりしても不思議ではありませぬ。
保育士は、どの園でも、ときどき目にする、こんな

お母さんの姿を反面教師として、応答的対応に努める必要があると思います。

しかし、子どもたちはほめてほしい時だけに、周囲の大人の反応を期待するわけではありません。

子どもたちは、失敗した時にも、自分で何か悪いことをしてしまったと思う時にも、周囲の大人の顔色を見るものです。

この時の子どもの表情は、悔しさと残念さと申し訳なさとが入り交じった、複雑な表情を見せるものです。

「残念。失敗しちゃったね。もう一回やってみようか」とか「大丈夫よ。次はきつと上手にやれるわよ」とかの共感と励ましのコトバがほしいのです。

また、自分に非があると感じている時には、「トシコちゃんの絵、汚しちゃったの？ トシコちゃんにゴメンって謝ろうね」「ヒデキくん、ぶつかられて痛い、痛いと言ってるよ。先生と一緒に大丈夫って聞いてあげて、ゴメンと謝ろうね」

などのコトバをかけながら、時にはスキンシップもしてあげることが必要な場面もあるかもしれません。

いずれにしても、保育士は、子どもが悪いことをしたと感じていることを評価しつつ、社会的なルールとして、すべきことを教えてあげてほしいのです。
子どもにしてみれば、自分から進んでした方がいいとは思っているのですが、その勇気がないとか、踏ん切りがつかないのです。

子どもたちとしては、保育士に自分の気持ちをおかしてもらい、その場にふさわしい行動の指示なり誘導なりを期待しているのです。

本来ならば、すべての子どもにいていねいに「応答的対応」をしてあげるのがベストではありますが、一人で何人もの子どもたちを保育しているわれわれには、それほど時間の余裕がないことも事実です。

そこで、お勧めするのが、ボディランゲージやフィンガーランゲージです。
遠くにいる子どもに向

手をする、指でOKサインを送る、頭の上に両腕で丸を作って見せる。

あるいは、悲しい顔をしたり、怒っているような顔をしながら、手で作ったパツ印を送るなど、それぞれで工夫したりモート通信をして、あなたのサインを、わたしは確かに受け取りましたよと返信することが必要です。

最もいけないのは、子どもが発信したサインを認めながら、それを無視することです。

国語辞典では、「愛情」の反対語は「憎しみ」とありますが、精神医学的には「愛情」の反対は「無視」なのです。

イジメの中に、ある一人の子を周囲の子どもたちが、全く関わらず、何の反応も示さず無視してしまう「シカト」といわれるイジメがあります。保育士は子どもたちからのサインを「シカト」しない、態度のいいセンサーと、的確な返信手段が求められていると思います。

保育の玉手箱



担当／北大阪ブロック

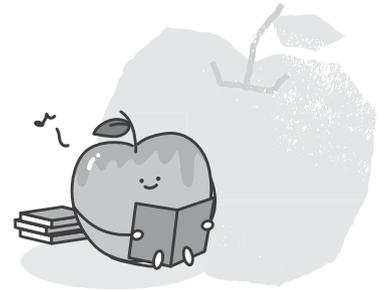
子どもと楽しめる絵本、読んで楽しい絵本を探してみました。読み手の楽しさが、きっと子どもたちにも伝わります。



ゆすってごらん りんごの木

サンマーク出版 さく：ニコ・シュテルンバウム

本をふったり、こすったり、くすぐったり…。
お話を見ながら子どもと一緒に遊べます。
お父さん、お母さんのおひざの上でスキンシップを楽しんでもらいたい一冊です。



たべたのだーれだ？

福音館書店 さく：たむらしげる

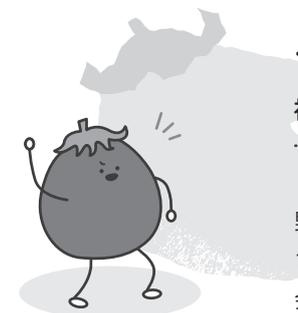
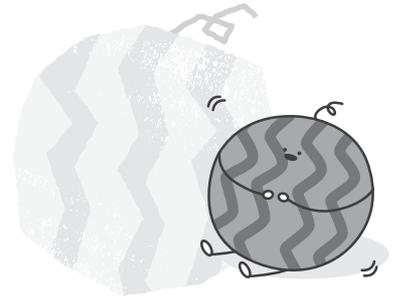
シンプルな絵の中から、少しだけのぞく動物に子どもたちはうれしそうに見ています。小さい子どもたちが大好きな、かくれんぼ絵本です。



すいか！

小峰書店 文：石津ちひろ 絵：村上康成

暑い夏の代表的な食べ物、「すいか」。おじいちゃんが育てたあま～いすいかに、みんなが集まってきて…。読み終えると「すいか、食べたくなってきたな～」の音が聞こえます。



やさいのおにたいじ

福音館書店 さく：つるたようこ

鬼退治伝説のお話ですが登場してくるのは、みんな野菜。しかも、鬼のこんにやく芋をはじめ、子どもたちにはちょっと耳慣れない京野菜ばかり。野菜たちの会話も京都弁で、はんなりと何とも楽しいお話です。



編集後記

先日の総会では、たくさんの方にご参加いただきありがとうございます。ありがとうございました。

2年にわたり総会の時期に「緊急事態宣言」が発令され、やむなく中止や縮小となってしまいました。

今年度はオンライン併用でしたが、皆さまと一緒に2年ぶりに総会および記念講演を行えましたこと、とてもうれしく思います。

まだまだ以前のようにはいきませんが、少しずつ前に進めたいいなあと感じます。コロナでさまざまながス、トップしてしまいましたが、子どもたちの成長は待ったなし!!

キャリアアップ研修はじめ、私たち保育士の学びの場を企画していきたいと思えます。

(N・R)

